

終着作戦第38号

華嚴寺の門前町 “谷汲”を探れ！

おはよう終着旅団の諸君。

なかなか梅雨も明けず、うっとうしい日々が続くようだが、諸君らには、世界制服という野望があるということをお忘れずに頑張ってもらいたい。

聞くところによると諸君らは、名古屋に美味しいマグロ料理屋を知っているとか。

この時期は運動不足の上にスタミナも不足しがちでついイライラしてしまうものだ。ぜひともビタミンを豊富に含んだマグロ料理で体力精神力のアップを図ってもらいたいものだ。

ただし！取材地が名古屋というのは、いかにも甘い！

諸君らのことだから、名古屋周辺の鉄道にちょいちょいと乗って、陽の高いうちからジョッキを掲げることだろう。姿が目には浮かぶようだ。

それは許可できない。

そこで今回の任務地だが、名古屋から北西へ60km、福井県との県境に近い、岐阜県の とある村を訪ねてもらおう。その村には、西国三十三カ所めぐりの33番札所、つまり結願の霊場・華嚴寺があるのだ。

この寺には本堂の真下に、秘密の地下通路があるという。なんでも『戒壇めぐり』と呼ばれるこの通路、照明は一切なしの真っ暗闇の中を手探りで進むらしい。中にはどんな魔物が潜んで

いるか一切わからない。命がけで調査していただきたい。

よって今回は、華嚴寺を擁する門前町・谷汲村が目的地だ。つまり名鉄の谷汲線を取材してもらおう。

ここの取材を無事に完了すれば、屋台でやたらめったら買い食いしようが、マグロ料理屋で五千円以上飲み食いしようが、帰りのアーバンライナーの車中でもカロリーの高い間食しようが、それは諸君らの自主性に任せる。ただしその様子を写した写真やビデオを女房に見られたところで、当方はいっさい関知しないので、そのつもりで。

なお、このテープは自動的に消滅する。
(シュウウウウッッ〜)